



## 車両を配備し災害に備える

特別養護老人ホーム灯光園に10月19日、中部電力(株)から福祉車両が配備されました。この目的は、原子力災害が発生したときに即時避難すると健康状態が悪化する危険のある人を放射線防護施設まで移送することです。柳澤市長は「避難に支援を必要としている人にとって必要なもの。有効に活用していきたい」と話しました。

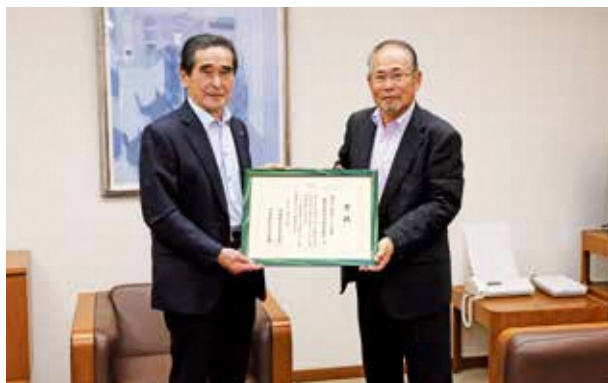
◀原子力災害への対応のために配備された福祉車両



## 住民の健康づくり支援する

医薬品や医療機器などを製造している大塚製薬(株)と市が10月20日、地域の活性化や健康づくりの増進を目的とした包括連携協定締結式をオンラインで実施しました。井上務名古屋支店長は「今後も住民の皆さんの笑顔を維持するために協力したい」とあいさつしました。この協定により女性の健康に関するセミナー、教育現場や企業などへの出前講座が実施されます。

◀協定書にサインする柳澤市長と井上務支店長



## 募金や清掃で市内外に貢献

第37回中日ボランティア賞に選ばれた「明るい社会づくり運動静岡県御前崎地区協議会」の岡村勝会長が10月23日、市役所で柳澤市長に受賞を報告しました。

同賞は、静岡県社会福祉協議会などから推薦された団体を中日新聞社が審査し表彰するというもの。岡村会長は「先輩方が地道に活動してきたことが評価されてうれしい」と語りました。

◀中日新聞社から贈られた賞状をもつ岡村会長



## 防風林植樹に約100人参加

新神子区町内会が10月31日、海岸沿いにクロマツとヤマモモ計600本を植樹しました。この取り組みは、豊かな緑の自然や景観を後世に残すことや松くい虫被害にあった海岸松林を本来の飛砂防備・防風機能を有した防災林に復元することが目的です。

参加者は、植樹活動を通じて防風林を守り育てることの大切さを学びました。

◀ていねいにクロマツを植樹する親子